



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 イチカワ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3513 URL <http://www.ik-felt.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蛭間 良右  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 村松 伸一 TEL (03)3816-1111  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	2,871	22.3	59	—	47	—	△177	—
22年3月期第1四半期	2,348	△31.6	△173	—	△154	—	△1,422	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△6.61	—
22年3月期第1四半期	△53.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	28,201	16,021	56.8	597.16
22年3月期	28,720	16,478	57.4	614.13

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 16,021百万円 22年3月期 16,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
23年3月期	—				
23年3月期(予想)		0.00	—	4.00	4.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,700	1.8	150	—	100	—	△60	—	△2.23
通期	11,500	3.8	380	—	270	—	120	—	4.47

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

詳細は、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	29,835,758株	22年3月期	29,835,758株
23年3月期1Q	3,006,092株	22年3月期	3,003,686株
23年3月期1Q	26,830,891株	22年3月期1Q	26,834,917株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第1四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新興国を中心とした海外経済の改善を背景に輸出が緩やかに増加し生産も持ち直すなど一部に回復の兆しが見えるものの、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況で推移しました。

当社グループの主要取引先であります紙・パルプ業界におきましては、紙・板紙の需要は下げ止まりつつあるものの、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は2,871百万円（前年同期比22.3%増）となりました。損益の状況につきましては、売上高の増加に加え徹底したコスト削減対策により、連結営業利益は59百万円（前年同期は連結営業損失173百万円）、連結経常利益は47百万円（前年同期は連結経常損失154百万円）となりました。また、投資有価証券評価損等を特別損失に計上したことにより四半期純損失は177百万円（前年同期は四半期純損失1,422百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### <抄紙用具関連事業>

（日本）

内需につきましては、厳しい市場環境の中、抄紙用ベルトの販売数量は横ばいで推移しましたが、懸命な受注活動が奏功し抄紙用フェルトの販売数量は増加いたしました。輸出につきましては、積極的な拡販活動が奏功し、抄紙用フェルト及び抄紙用ベルトともに販売数量は増加いたしました。この結果、売上高は2,045百万円となりました。

（北米）

抄紙用フェルト及び抄紙用ベルトともに販売数量が増加したことにより、売上高は220百万円となりました。

（欧州）

抄紙用フェルトの販売数量は減少いたしましたが、抄紙用ベルトの販売数量が増加したことにより、売上高は301百万円となりました。

（中国）

抄紙用フェルト及び抄紙用ベルトともに販売数量が増加したことにより、売上高は146百万円となりました。

#### <工業用事業>

内需及び輸出ともに販売数量は増加し、売上高は157百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ519百万円減少し、28,201百万円となりました。これは主として投資有価証券が247百万円、有形固定資産が211百万円、受取手形及び売掛金が148百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ62百万円減少し、12,180百万円となりました。これは主として未払法人税等が44百万円増加した一方、短期借入金が171百万円、賞与引当金が131百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ456百万円減少し、16,021百万円となりました。これは主として利益剰余金が284百万円、その他有価証券評価差額金が94百万円、為替換算調整勘定が76百万円それぞれ減少したことによるものです。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ163百万円増加し、2,195百万円（前年度末比8.0%増）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりです。

#### <営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費を源泉とした収入332百万円を計上したほか、投資有価証券評価損を源泉とした収入などにより639百万円の収入（前年同期比129百万円の収入減）となりました。

#### <投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出91百万円などにより、97百万円の支出（前年同期比892百万円の支出減）となりました。

#### <財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少による支出156百万円を計上したほか、長期借入金の返済による支出などにより355百万円の支出（前年同期は15百万円の収入）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、第1四半期の業績及び今後の動向等を勘案し、平成22年5月14日に公表した予想数値を修正いたしました。詳細につきましては、本日付で別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっています。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっています。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益が400千円、税金等調整前四半期純利益は14,014千円減少しています。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,195,967	2,032,934
受取手形及び売掛金	4,134,590	4,282,977
商品及び製品	1,840,423	1,892,842
仕掛品	807,257	854,515
原材料及び貯蔵品	335,990	341,597
繰延税金資産	91,627	67,258
その他	229,990	221,025
貸倒引当金	△7,989	△19,921
流動資産合計	9,627,857	9,673,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,263,354	8,357,518
その他(純額)	7,387,080	7,504,185
有形固定資産合計	15,650,434	15,861,704
無形固定資産		
投資その他の資産	200,043	215,355
投資有価証券	2,633,356	2,881,090
繰延税金資産	20,694	16,963
その他	136,267	142,040
貸倒引当金	△67,125	△69,456
投資その他の資産合計	2,723,193	2,970,637
固定資産合計	18,573,671	19,047,698
資産合計	28,201,528	28,720,927

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	614,981	576,521
短期借入金	3,861,725	4,033,544
未払法人税等	86,052	41,437
賞与引当金	133,204	265,106
その他	1,168,319	897,112
流動負債合計	5,864,283	5,813,722
固定負債		
長期借入金	820,000	885,000
退職給付引当金	2,070,607	2,065,157
その他	3,425,119	3,478,703
固定負債合計	6,315,726	6,428,860
負債合計	12,180,009	12,242,583
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,594,803	3,594,803
資本剰余金	2,323,218	2,323,218
利益剰余金	11,134,135	11,419,001
自己株式	△1,061,384	△1,060,985
株主資本合計	15,990,772	16,276,037
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	240,448	335,144
為替換算調整勘定	△209,701	△132,838
評価・換算差額等合計	30,746	202,306
純資産合計	16,021,519	16,478,344
負債純資産合計	28,201,528	28,720,927



## (2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,348,062	2,871,603
売上原価	1,623,573	1,959,813
売上総利益	724,488	911,790
販売費及び一般管理費	897,739	852,447
営業利益又は営業損失(△)	△173,251	59,342
営業外収益		
受取配当金	40,897	38,921
その他	17,805	10,675
営業外収益合計	58,702	49,596
営業外費用		
支払利息	21,343	34,971
為替差損	9,501	19,199
固定資産除却損	8,668	—
その他	780	7,118
営業外費用合計	40,294	61,289
経常利益又は経常損失(△)	△154,843	47,650
特別損失		
投資有価証券評価損	—	138,545
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,614
特別損失合計	—	152,159
税金等調整前四半期純損失(△)	△154,843	△104,509
法人税、住民税及び事業税	33,995	113,501
法人税等調整額	1,233,743	△40,745
法人税等合計	1,267,739	72,755
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△177,264
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△1,422,582	△177,264

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△154,843	△104,509
減価償却費	322,785	332,769
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,614
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,733	△13,185
賞与引当金の増減額(△は減少)	△170,364	△131,902
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,271	5,450
受取利息及び受取配当金	△42,217	△39,060
支払利息	21,343	34,971
為替差損益(△は益)	2,352	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	138,545
売上債権の増減額(△は増加)	821,405	52,589
たな卸資産の増減額(△は増加)	△209,504	75,036
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,460	89,974
その他	287,366	246,378
小計	868,401	700,672
利息及び配当金の受取額	42,217	39,060
利息の支払額	△19,013	△33,001
法人税等の支払額	△122,446	△66,873
営業活動によるキャッシュ・フロー	769,159	639,858
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△932,814	△91,903
その他	△57,767	△5,928
投資活動によるキャッシュ・フロー	△990,581	△97,832
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	115,224	△156,553
長期借入金の返済による支出	△30,000	△65,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△46,410
配当金の支払額	△67,429	△87,187
その他	△2,587	△399
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,206	△355,550
現金及び現金同等物に係る換算差額	41,362	△23,442
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△164,853	163,033
現金及び現金同等物の期首残高	1,910,876	2,032,934
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,746,023	2,195,967

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	抄紙用具関連 事業(千円)	工業用関連 事業(千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,230,654	117,408	2,348,062	—	2,348,062
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	2,230,654	117,408	2,348,062	(—)	2,348,062
営業利益又は 営業損失(△)	279,300	△ 57,019	222,281	(395,533)	△ 173,251

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっています。

2 各区分の主な製品

(1) 抄紙用具関連事業…抄紙用フェルト、抄紙用ベルト、スレート用フェルト等

(2) 工業用関連事業…工業用フェルト、工業用関連仕入品

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,730,196	207,002	304,453	106,409	2,348,062	—	2,348,062
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	540,777	—	—	26,541	567,319	(567,319)	—
計	2,270,973	207,002	304,453	132,951	2,915,381	(567,319)	2,348,062
営業利益又は 営業損失(△)	210,559	△8,798	△284	18,901	220,377	(393,629)	△173,251

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	204,744	311,285	394,653	910,683
II 連結売上高(千円)				2,348,062
III 連結売上高に占める海外 売上高の割合(%)	8.7	13.3	16.8	38.8

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、抄紙用具関連事業及び工業用事業の製造・販売を行っており、抄紙用具関連事業については、日本(当社)・北米(イチカワ・ノース・アメリカ・コーポレーション)・欧州(イチカワ・ヨーロッパGmbH)・中国(宜紙佳造紙脱水器材貿易(上海)有限公司)に販売拠点を置き、事業活動を展開しております。工業用事業については、主に株式会社イチカワテクノファブリクスが販売を担当しております。各会社は、それぞれ独立した経営単位であり、各会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、本社及び連結子会社を基礎とした販売地域又は製品別事業セグメントから構成されており、事業活動の内容及び経営環境に関して適切な情報を提供するため、販売地域ごとに製品の要素が概ね類似する複数の事業セグメントを集約し、「抄紙用具関連事業(日本・北米・欧州・中国)」及び「工業用事業」の5つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	抄紙用具関連事業				工業用 事業	計		
	日本	北米	欧州	中国				
売上高								
外部顧客への売上高	2,045,840	220,126	301,354	146,880	157,402	2,871,603	—	2,871,603
セグメント間の 内部売上高又は振替高	470,980	—	—	34,280	5,419	510,679	(510,679)	—
計	2,516,820	220,126	301,354	181,160	162,821	3,382,283	(510,679)	2,871,603
セグメント利益又は 損失(△)	491,384	5,046	15,672	19,320	△23,703	507,721	(448,378)	59,342

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△448,378千円には、セグメント間消去6,566千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△372,951千円、棚卸資産の調整額△56,315千円、為替レート差額△23,757千円、貸倒引当金の修正等△1,920千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。